

「自分の将来に夢や目標を持ち、自己実現に向けて挑戦し続ける生徒の育成」

好きです!山中

学校便り第11号 平成31年3月14日

平成最後の卒業式 237名が学び舎を巣立ちました

3月9日(土)に平成最後となる第72回の卒業証書授与式を開催しました。山鹿中の自慢の一つが卒業式です。3年間の集大成としての卒業生の姿や、全員合唱「マイウェイ」等に学校全体の一体感を感じ、心から感動に包まれた式となります。

本年度も、「先輩たちを超える卒業式を」「恩返しを表現できる式に」「卒業生も在校生も感動の気持ちを第一に」など大切な伝統を引き継ぎ感動あふれる式となりました。式前の生徒手作りによる思い出のDVD紹介、卒業生の凛とした姿や喜びに満ちた表情、全校の思いを込めた代表生徒による送辞・答辞、そして全校合唱「マイウェイ」や校歌のハーモニーは実に美しく、感動でいっぱいの時間となりました。「さくら会」の皆様には、テーブルの花やウエルカムボードを準備していただき、たくさんの方々より温かい励ましの祝辞や祝詞、言葉かけをいただき心から感謝申し上げます。

最後になりましたが、237名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます！心からのお祝いとともに、みんなの限りない成長と幸せを願っています。



(本校ホームページに写真を掲載しています)

あれから8年の歳月、防災教室を実施！

平成23年3月11日に発生した東日本大震災から8年の歳月が流れました。あの日の午後、テレビが映し出す映像に衝撃を覚えるとともに、映画を観ているような錯覚にさえ感じました。津波による甚大な被害、原子力発電所の崩壊による立ち入り規制など、想定をはるかに超える災害でした。そして3年前に発生した熊本地震。「まさか」の連続でしたが、これらの経験を教訓として、学校においても、全学年で「防災教室」の授業を実施したり、PTA活動の一環として備蓄品を買いそろえて保管したりしています。

授業では、他人事ではなく、自分たちのこととして、「自助・共助」について考え、いざというときの行動につなげていく力を身に付けることを目指し、8年前に起きた災害の映像にしっかりと目を向けたあと、ワークショップ形式で様々な場面での災害を想定し、危険と対策を考えました。



